

JKiCセミナー

臨床検体の利用

#10 ロボットと人工知能で拓く ライフサイエンスの未来



夏目 徹 氏

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
創薬分子プロファイリング研究センター
研究センター長

少子化、バイオハザード、ミスコンダクト等々、ライフサイエンスを取り巻く状況は悪化の一途をたどる。本講演では、これらの問題を全て解決し、研究者の個人生産性を飛躍的に向上させる「汎用ヒト型ロボット技術」について講演する。ロボット化の目的は、単に人間が行ってきた作業を自動化することではない。ロボットの真の価値は、熟練者の技術を可視化・最適化することにより、最適化された技術が、再現共有されることによりロボットの価値は最大化する。近い将来、ロボットと人工知能が研究者を労働から解放する未来について議論する。

2019. 11. 27 水

18:00～19:30 JKiC1階会議室

主催：JSR・慶應義塾大学医学化学イノベーションセンター

共催：臨床研究推進センター

お問合せ先：JKiC産学医連携部門 Mail: jki-c-info@adst.keio.ac.jp